

せいらん舎卒業生(K.O)による**徹底解析**「早稲田大学」

『数学好き』がその道を究めたいなら、絶対に読むべきレポート



『大隈記念講堂』



早稲田大学の創立者『大隈重信』

・概要

所在地 東京都新宿区戸塚町一丁目 104 番地(早稲田キャンパス)

栗橋からのアクセス **Total 約 1 時間 10 分**

湘南新宿ライン：栗橋～池袋 58 分→

山手線内回り：池袋～高田馬場 4 分→

東京メトロ東西線：高田馬場～早稲田 3 分（早稲田大学正門まで徒歩 3 分）

自宅から通える！ 朝も割と座れる！

移動時間がそこそこあるからそこで課題もできる！

ぐっすり寝れる etc…、メリット沢山!!

・学部

政治経済学部 法学部 文化構想学部 文学部 教育学部 商学部 基幹理

工学部 先進理工学部 創造理工学部 社会科学部 人間科学部 スポーツ

科学部 国際教養学部(とにかく多い! 受験する際は学部選びを慎重に!)

私の所属学部は『教育学部・数学科』(後程くわしく解説します!)

早稲田大学教育学部数学科を選んだ理由

① 著名な数学の先生がいる

中学生の頃からとにかく数学が好きで、高校に入ってもその気持ちは変わらず、大学に入って素晴らしい教授から学びを得たかったからです。

② 大学入学後に数学のみ専門的に扱える

自分は化学がとても苦手で、受験期に苦しめられたため、大学入って化学の授業について行ける自信がありませんでした(国立も受験しましたが入試本番で化学に足元をすくわれました)。後輩の皆さんが受験するときは、これを反面教師に満遍なく勉強しましょう！

③ 自宅からの通いやすさ

上の①、②の条件を満たす大学の中で最も自宅に近かったからです。

早稲田大学は魅力満載！

① 手厚い学習サポート

大学の授業は高校までの授業と比べて格段に難しく、自己解釈や曖昧な理解は危険です（特に理系科目）。しかし、早稲田大学には、質問、議論、自習の場が多く与えられており、学習環境が充実しています。



(i) W Space (3号館2階、月～金：10:00-21:00、土：10:00-18:00)

ここでは、グループワークやプレゼンテーションの練習ができます。時間を取ってしっかり議論したいものがあるときにおすすめの場所です。

(ii)早稲田大学 中央図書館



早稲田キャンパスにある中央図書館は破格のスケールです。膨大な数の蔵書があるだけでなく、議論ができるエリア、自習ができるエリア、長時間くつろげるエリアなどがあり、テスト期間の勉強や息抜きの場には最適です。

それ以外にも、自分の所属する教育学部数学科では、zoom やオフィスアワーといった形で、教授に質問したり議論したりできます。自分は、自分の解釈が正しいかどうか不安なときや、授業の際分からないことがあった場合によく教授に質問をしに行くのですが(塾生時代もよくせいらの先生に質問しに行っていました)、その際、教授はとても丁寧に解説してくださります。

② 充実した周辺施設

早稲田大学の周辺には、学生向けの店舗が沢山あります。

(i) 学生が利用しやすい飲食店

大学周辺には、ローソン、セブンイレブン、ファミマといったコンビニはもちろんのこと、タリーズやマクドナルド、モスバーガーなどがあり、朝食、昼食、夕食には困りません！（時間帯によってはめちゃくちゃ混んでいるので椅子取りゲーム必至ですが）

特に、自分がおすすめしたいのは、『キッチンオトボケ』です！



どの料理も **ボリューム**で**美味しい**上に**安い**と非の打ち所がありません。

早大出身の将棋（私の趣味）棋士の先生も学生時代に重宝していたとか…。

実は、自分も最近週1で通っています！ 笑

(ii) 就職用の予備校

公認会計士などの資格試験に特化した予備校が早稲田キャンパスのすぐ近くにあり、大学生活と両立しやすいです。自分も大学3年次から近くの予備校に通う予定です！

(iii) 日本でも有数の古書店街

本屋が大学周辺に沢山あり、殆どの書店で古本も扱っているため、Amazonで欲しい本が見つからなかったら足を運んでみましょう！

③ 他の追随を許さぬ著名人の数

早稲田大学は、有名人の卒業生が大勢いらっしゃいます。例えば、

- ・岸田文雄さん…現総理大臣（2022年時点）
- ・竹下登さん…元総理大臣、DAIGOさんの父
- ・羽鳥慎一さん…アナウンサー
- ・市来玲奈さん…アナウンサー 元乃木坂46
- ・小島よしおさん…お笑い芸人
- ・藤木直人さん…俳優
- ・広瀬章人さん…将棋のプロ棋士 将棋界の最高峰タイトル『竜王』を保持していたときもある超実力者

『著名人ランキング』では、東京大学、慶応大学を押さえて早稲田大学がダントツの1位です！

Interview

Q.大学でどんなことを学んでいますか？

教育学部という名前ですが、教職科目(教員免許を取るのに必要な授業)は取っても取らなくてもいいので、取らない人も多いです。※自分は、万一のためにと、1年次で取れる教職の授業は全て単位を取り切りました。教育学部の中でも、『数学科』は朝から晩まで数学を“deep”に研究している学科です。

一例として…

2+3=3+2、2×3=3×2 が当たり前でない世界がある！

このような、“和”や“積”の交換を、‘当たり前でできること’だと思いませんか？実は、このような演算が、‘当たり前でない’世界があります。そのような世界の性質について深く掘り下げ、どのような演算が存在するのかを調べます。

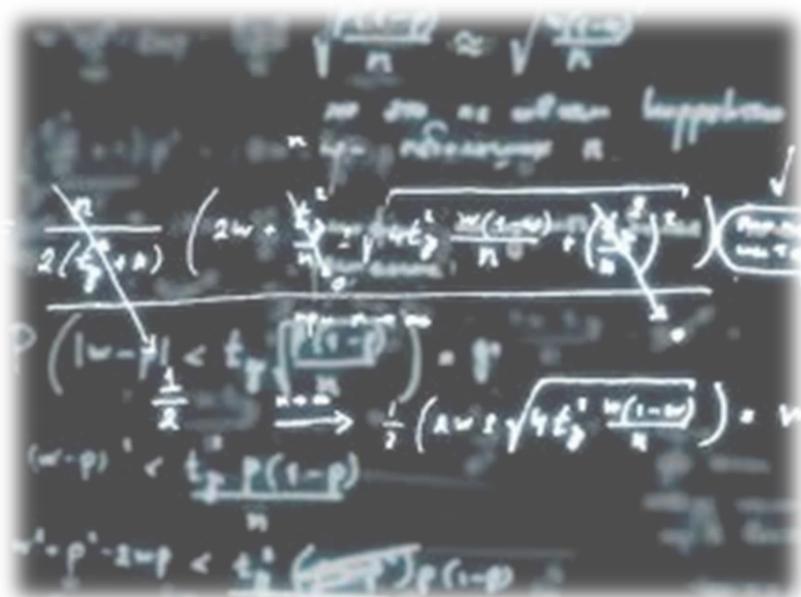
距離のない空間において、『近く』をどのように表すかを考えたり、高校までの

数学でぼやかされていた性質や公式を厳密に考え直したりもします。高校までの数学の延長のような授業は少数で、基本的には全く別の世界を旅する授業が多数です。かといって、高校までの数学の知識が定着してないと即詰みに陥ります。※これは数学科に関わらず別の理系学部でも当てはまります。

みなさんの抱く数学科のイメージは、「ずっと問題を解いている、ひたすら計算をしている」という感じかと思います。しかし、実際は、問題をそのような授業は殆どありません。授業では定義や公理から、定理や性質、公式の証明を主に行なっています。ですから、計算や問題を解くのが好きな人にとっては、少々退屈かもしれません。証明が好きで、定義、定理や公式に美しさを感じる人にとっては、天国のような場所です。

また、理系でお馴染みの実験が一切なく、頭の中でひたすら考えて考えて…ということを繰り返しています。自分はそれが癖になってしまい、日常生活でも、行動に移す前に長考してしまったり、気づいたら1つの証明に5~6時間考えていたり、自転車をこいでいるときに証明の手順が思いつき、嬉しさのあまり、前方不注意で事故に遭いそうになったりも…。

これも“数学愛”ゆえの代償ですね！



・将来の夢と今の目標

将来の夢…公認会計士になることです。

理由…仕事で数学を使う機会が多い上に、対策や働く際に『数学科での経験』が大きなメリットに繋がると思ったからです。大学周辺に対策用の予備校がいくつもあるため、環境的なメリットもあるのも理由の一つです。

今の目標…大学院に進学し、自分の専門分野を磨くことです。大学院では、**確率統計系、経済系、解析系**のどれかに行きたいと思っています。1年次の成績がそこそこ良かったため、選択肢が広がった点は僥倖でした。

Q.改めて“せいらん舎”での生活を振り返ると…

今までの人生で一番ハードワークだったかなあとと思います(笑)

でも、せいらん舎での生活のおかげでコツコツ頑張る力、考える力 etc の勉強する上での基盤が身についたから今の自分があるのかなと思います。だから、皆さんもせいらん舎での生活を大切にしてほしいです。

Q.塾生に向けてメッセージをお願いします

最近、平日や教室開放のときに最後まで勉強する塾生、ガッツがありがむしやらに取り組む塾生が減ってしまったように思います。部活が忙しい、誘惑が多くてできなかったと言う人もいますが、厳しいことを言えば、それらは全て言い訳です。正直、中学生のとき頑張れなかった人は今後も頑張れないと思います。また、今怠けすぎると、将来の可能性を自分で潰すことになります。ただ、コロナ禍での自粛生活からやっと日常をとりもどしつつあることを思えば、やはりしんどい部分もあるのかと思いますが、それでも今の貴重な時間を絶対に無駄にしてほしくありません。

実は自分も中学1年生の途中まで勉強が嫌いでした。ですが、『このままではダメだ』と思いコツコツ努力した結果、中学2年生になってから、成績が上がり、勉強が楽しいと感じるようになりました。難しい問題が解けたとき、満点が取れたときの嬉しさはゲームで勝ったときとは比になりません。目に見えた結果が出なかったとしても、『努力する』ことを忘れずに実行してほしいです。あとは、特に理系の高校生や、実力がある中学生に向けてですが、『考えること』をたくさん行ってほしいです。若いうちは、脳が活性化しているため、考えれば考えるほど色んなものが見えてきます。難しい問題を考え抜いて正解したときの喜びはひとしおです。その経験は、必ずどこかで生きてきます！

文責：せいらん舎20期卒業生 小山内孝太

出典・参考文献

- <https://www.waseda.jp/top/news/20206>
- <https://www.waseda.jp/library/libraries/central/>
- <https://www.waseda.jp/library/news/2018/07/13/5340/>
- <https://www.waseda.jp/library/services/non-waseda/>
- <https://m.facebook.com/pg/kitchen.otoboke/posts/>